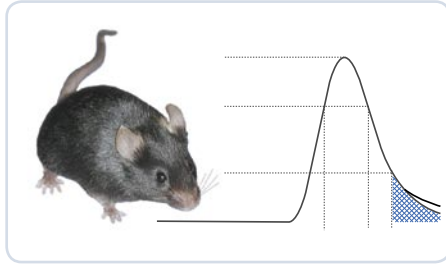


心拍出量測定システム

サーモダイリューション法による心拍出量の測定

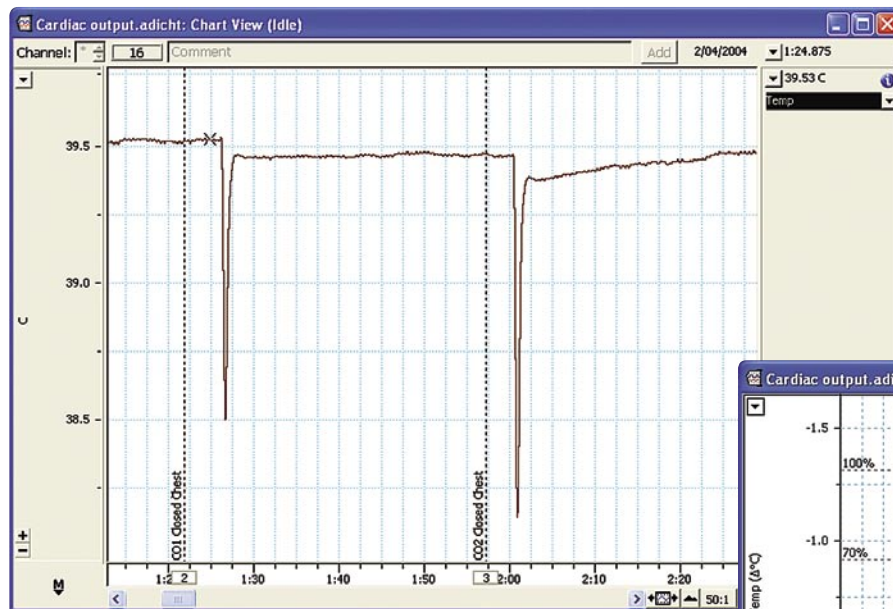


本システムは、マウスやラットのような小動物の心拍出量をサーモダイリューション(熱希釈)法により記録・解析するためのパッケージになっており、心臓の左側に低温液を注入して、動脈血が循環する際の温度変化を測定する仕組みになっています。

心拍出量ポッド(温度シグナルコンディショナー)と応答所要時間0.005秒のTタイプ高速熱電対

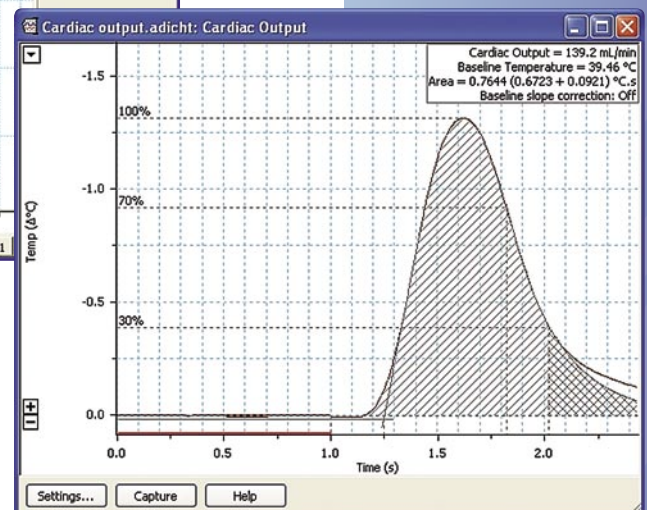
プローブがシステムの主要構成機器で、他にPowerLab 8/30及び付属ソフトChartとCardiac Outputモジュール(Windows版のみ)を含むChart Proが同梱されています。

Cardiac OutputモジュールはChartのモジュールで、記録したサーモダイリューション曲線から心拍出量を表示・演算します。また、注入液の温度・量、ベースラインの傾き補正、温度の下限值補正といったパラメーターが設定でき、個々のサーモダイリューション曲線から心拍出量を読み取るのも容易です。更に、データは簡単に書き出しができるので、他の解析にも流用できます。



低温の生理食塩水を注入した小動物から得られたサーモダイリューション曲線をChartで記録し、表示したところ

ベースライン温度、サーモダイリューション曲線下領域、心拍出量値を表示するCardiac Outputモジュール画面



特長および利点

- データ収録システム・シグナルコンディショナー・熱電対プローブ・ソフトウェア・アクセサリ類からなるパッケージ
- シグナルコンディショナーをPowerLabデータ収録システムに「プラグアンドプレイ」で簡単接続
- 高速応答のTタイプ熱電対プローブによる正確な測定
- Cardiac Outputモジュールで心拍出量をすばやく簡単に演算
- 注入量を正確に計るためのアクセサリキット同梱

心拍出量測定システムの構成

システムの概要

心拍出量ポッドと高速熱電対プローブは、循環する血液の温度変化を測定するのに用います。また、注入液の温度測定にはTタイプポッドと汎用Tタイプ熱電対プローブが便利です。その他にカテーテル・三方活栓・デイスベンサー付シリンジが同梱されており、PowerLab及びソフトのChartやCardiac Outputモジュールと組み合わせれば、小動物の心拍出量の測定がすばやく簡単に行えます。

ML870B10 心拍出量測定システム



- ◆ ML870 PowerLab 8/30
(8チャンネルデータ収録システム)
- ◆ MLS250 Chart Pro モジュール
- ◆ ML312 Tタイプポッド
- ◆ MLT1400 汎用熱電対プローブ
- ◆ ML313B 心拍出量ポッド
 - MLT1402 Tタイプ超高速熱電対プローブ
 - MLS340 Cardiac Output モジュール
 - MLA313 心拍出量アクセサリキット
 - ・ ハミルトンLRガラスシリンジ (250µl)
 - ・ PB600 デイスベンサー
 - ・ ポリエチレン製カテーテル (6本)
 - ・ 三方活栓 (4個)
 - ・ Touhy Borst アダプター (2個)



PowerLab, MacLab, LabTutorはエー・ディー・インストルメンツ社の登録商標、またChartとScopeは同社の商標です。Windowsはマイクロソフト社の、Macintosh及びMacはアップルコンピュータ社の登録商標です。その他の商標もすべて著作権所有者に帰属するものです。 MVS10/05

PowerLabシステム及びシグナルコンディショナー類は欧州のEMC対策指導要領に則っています。被験者に直接使用する当社のシグナルコンディショナー類は、人体安全基準のIEC60601-1及び医療用電子機器安全基準のCSA C22.2 No. 601.1-M90とUL Std No. 2601-1に準拠しています。



日本総販売元



バイオリサーチセンター株式会社

本社/〒461-0001 名古屋市東区泉二丁目28-24 ヨコタビル TEL: 052-932-6421 FAX: 052-932-6755
東京/〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目9-7 RECビル TEL: 03-3861-7021 FAX: 03-3861-7022
URL <http://www.brck.co.jp> E-mail sales@brck.co.jp